

益田市堆肥センターに新堆肥舎を建設しました！

益田市堆肥センター（市原町）の新堆肥舎が完成し、4月1日(土)に竣工式が開催されました。

益田市堆肥センターは、平成12年の運営開始から20年以上にわたって国営開発農地内の畜産農家から排出される牛ふんを堆肥化しています。

近年、畜産農家の規模拡大に伴い飼養頭数が増えていることから、このたび、益田地域堆肥生産協議会を設立し、国の事業を活用して、スクリー式攪拌機能を付加した堆肥舎を新たに建設しました。

新堆肥舎ができたことで堆肥の生産基盤が強化され、安定生産による循環型農業の推進や益田市の畜産業の活性化が期待されます。



益田市堆肥センター新堆肥舎の概要

構造：鉄骨平屋建て
延べ面積：397.60㎡
処理能力：堆肥生産量 2,800トン/年
スペック：高圧エア-粉碎堆積発酵装置



○牛ふん堆肥ができるまで

一般的な牛ふん堆肥は、牛ふんに藁やおがくずを混ぜて発酵させたものです。発酵過程でおよそ70℃前後の発酵熱が発生するので、悪い菌や雑草の種子はほとんど死滅します。

この発酵作業はとても時間がかかる大変な作業ですが、高圧エア-粉碎堆積発酵装置は、空気を送り込みながら攪拌するので堆肥を細かく粉碎することができ、より効率的に堆肥を発酵させることができます。



堆肥を攪拌する高圧エア-粉碎堆積発酵装置

○堆肥を使うとどんな効果があるの？

土が固いと植物は根を伸ばすことができず、水はけも悪くなります。一般的に、堆肥を加えることで水や空気が多く含まれる土になり、ふかふかと柔らかくなります。土が柔らかくなると植物は根を伸ばしやすくなり、また、常に土の中に適度な水と空気があることで、根が健全に育ちやすくなります。

このように、堆肥を使うと植物の生育に良い影響をもたらすとされています。

「牛ふん堆肥 エコパワー ますだ一番」販売中！

益田市堆肥センターでつくられた堆肥は「牛ふん堆肥 エコパワー ますだ一番」として、益田市堆肥センターやJAグリーンセンターで販売されています。

牛ふん堆肥は、他の堆肥に比べて土壌改良の効果が長く続くのが特徴とされており、家庭菜園にも多く使われています。



「牛ふん堆肥 エコパワー ますだ一番」は、有機JAS規格別表1適合資材（有機JAS規格に使用可能な肥料および土壌改良資材）です！



「牛ふん堆肥 エコパワー ますだ一番」
（袋詰め重量 写真左：18kg、右：10kg）

【問い合わせ先】 市農林水産課 ☎ 31-0316 ☎ 31-0452

農事組合法人益田市堆肥センター ☎ ☎ 28-1635